

開講科目名 Course	企業法会計論研究 (A) / Law and Regulation on Financial Reporting (A)
時間割コード Course Code	13640
開講所属 Course Offered by	会計学研究科博士前期課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2021年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	土 / Sat 2
開講区分 semester offered	前期 / .
単位数 Credits	2.0
学年 Year	1,2
主担当教員 Main Instructor	佐藤 敏昭
科目区分 Course Group	基幹科目
教室 Classroom	5 4 講義室
講義形式 Lecture Style	講義科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	佐藤 敏昭 (経営学部)
授業の目標	
授業の概要	<p>会社情報の外部報告開示情報を取り扱う。前期は、会社法系の法令すなわち会社法・会社法施行規則・会社計算規則のトレースを行い、実際の株主総会招集通知に添付された計算書類および事業報告について実際上の検討を行うと共に、その根拠法令の確認が重要である。これらを毎回、丁寧に追いかけていくことにしたい。</p> <p>【授業計画】</p> <p>第1回 企業会計法と企業情報開示の意義・機能 第2回 会社法における開示制度・監査制度の概要 第3回 会社法における会社情報の伝達 第4回 事業報告（前半） 第5回 事業報告（後半） 第6回 個別貸借対照表 第7回 個別損益計算書 第8回 個別株主資本等変動計算書 第9回 個別注記表 第10回 連結貸借対照表および連結損益計算書 第11回 連結株主資本主資本等変動計算書 第12回 会計監査人の会計監査報告 第13回 監査役会の監査報告 第14回 総括（前半） 第15回 総括（後半）</p> <p>【授業目標】</p> <p>存外、税理士になってしまうと企業会計の知見がアップデートされていないのが実状である。会計法規集さえ携えていれば、最新の企業会計に応じることのできる税理士の下地づくりを目指す。</p> <p>【成績評価】</p> <p>専ら授業に対する参加姿勢で評価する。試験やレポートは課さない。出席することが前提であるが、欠席する場合は、事前に連絡すること。</p>
評価方法	
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	
授業計画	
テキスト	中央経済社「会計法規集」の最新版。毎回、私のレジュメを配布する。
参考書	都度、指示する。

アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授業	
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	
フィードバックの方法	
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	
使用言語	
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	